

■一票の格差■

ほぼ週刊【松村拓也のメールマガジン】第 400 号

こんにちは、松村拓也です。

E-Mail と Facebook で松村拓也の活動についてはほぼ毎週お届けしています。

ご意見、ご質問大歓迎です。

オンラインの議論をご希望の方は、気軽に返信ください。

.....

400 目次

1. トピックス：400号になりました
2. ブログより：一票の格差
3. 今週のお誘い+今後の予定
4. 地主の学校・販売中
5. アクセスポイント：問い合わせ先
6. このメルマガについて

.....

1. トピックス：400号になりました

2011年3月11日、東日本大震災をきっかけに日本経済の破たんを直感した僕は、世田谷ものづくり学校や、産業振興公社内の作業スペースに見切りをつけ、アントレハウス駒沢を開設しました。

これに伴い「起業マインドサイト」をはじめとする「まつむら塾」も、こちらで定期開催することにしたので、その広報誌として、「マインドレター」と称するメルマガをスタートさせました。

やがて、2015年3月末の100号をもって一旦終了し、2015年4月23日からこのメルマガがスタートしました。冒頭にもある通り、このメルマガは新たに知り合ったすべての方に、E-Mail と Facebook で松村拓也の活動についてはほぼ毎週お届けしています。

それから7年、ついに400号を迎えることになったことをご報告いたします。

.

このメルマガの内容は、皆さんに伝えたいことと、僕自身が発信したいことの2点です。

前者は、お読みいただく皆さんにお伝えしたいことですが、後者の「発信したいこと」は「2. ブログ・・・」のことで、文章化すること頭の中を整理したり、考える作業そのもので、読んでいただくことが目的ではありません。

なので、時々これに対する感想やご意見、そして反論を頂くことがありますが、僕の議論に答えていただきとてもうれしいです。

もしも、オンラインの議論をご希望の方は大歓迎ですので、気軽に返信ください。

.

おりしも昨日は40回目の結婚記念日で、今新たな気分でこの記事を書いています。

次号もしくは新年号から、少し内容を変えようと思っておりますので、引き続きよろしく願いいたします。

.....

2. ブログより：一票の格差

先月 11 月 18 日、改正公職選挙法が成立した。

参議院本会議で行われた採決では、自民・公明両党や、立憲民主党、日本維新の会、国民民主党、社民党、NHK 党、参政党などが賛成し、共産党、れいわ新選組だけが反対した。

これにより、おととしの国勢調査をもとに試算すると、いわゆる 1 票の格差は 1.999 倍となり、現在の最大 2.096 倍から改善される。

また付帯決議では「法律の施行後も、選挙制度は不断に見直していくべきだ」として、速やかに与野党協議の場を設け、人口減少や地域間格差が拡大している現状を踏まえ、議員定数や地域の実情を反映した区割りの在り方などについて抜本的な検討を行うとしている。

これに対し、共産党は「選挙のたびに選挙区が変わるのでは、有権者と候補者の関係が継続せず選挙とは言えない」と反論した。

・

このニュースを見て、あなたはどう思う？

議席数は変わらないし、一票の格差は 2 倍以内になったし、ま、いいんじゃないの、、、だろうか。

だが僕は、これほど無駄な手続きと、無意味な議論を聞くだけで、吐き気に近い不快感を覚える。

そもそもこの議論の核心は「一票の格差」であったはず。

格差を解消するのなら、まずその前に格差の弊害や解消の必要性について論ずるべきだと思う。

「格差は善」とは言わないが、だからと言って「格差は悪」と決めつけて良い訳ではない。

格差の悪い面を解消したいなら、その格差がなぜ生まれるのかについても検討し、生まれないようにする必要だってあるかもしれない。

・

一票の格差とは、同一の選挙で選挙区ごとの有権者数あるいは人口数が異なることから、1 票の価値あるいは選挙区民一人ひとりの価値が異なることを指摘する言葉。

仮に同じ議席数でも人口が異なれば、一方の選挙区の落選者と同じ得票数で、もう一方の選挙区では投票できる場合がある。

こうした不公平は、社会の至る所で見受けられる。

かつてハーバード大学では、人種ごとの入学者枠を世界の人口比に準じたところ、結果として有色人種枠の合格点が下がり、白人受験者の不満を募らせた。

これに比べれば、選挙権に能力差は無く一人一票なので、選挙における一票の格差を解消したいなら、定員を変えれば簡単だ。

・

我が国の人口 12,614 万人に対し、最も少ない鳥取県の人口は約 57 万人なので、鳥取県に 1 議席割り当てると、221 議席になる。

そこで、鳥取県に 2 議席割り当てて、その他の都道府県には 28 万人ごとに 1 議席ずつ割り当てれば、最大でも鳥取県に 3 議席割り振った場合の 19 万人／議席と 28 万人・議席の比較で 1.47 倍となり、現行の 2 倍よりずっと少ない。

だが、現状の衆議院は、小選挙区 289 と比例区 176 の 465 議席だ。

上記のプランは 442 議席あれば実現できるので、総数は十分だが 2 つの方式が邪魔をする。

こうして考えてみると、小選挙区と比例代表の 2 方式を併存させていることが、格差解消を妨げる要因だと判ってきた。

だが、この問題は別の機会に譲ることにして、今日は脱線しないようにしよう。

・

さて、格差の解消は諦めるとして、今回の改正にやる意味などあるのだろうか。

一票の格差が最大 2.096 倍から 1.999 倍になると言うが、そんなことのために、区割りを変え、その周知を徹底するだけでなく、今後も「見直し続ける」など、まさに「無駄」ではないだろうか。

$2.096 - 1.999 = 0.097$ つまり、1 議席あたりの総人口約 1% を調整することなど、ここに含まれない外国人、含まれても投票できない子供たち、せっかく投票しても小選挙区で落選するすべての死に票、そして選挙に行かない半数の人たちの存在も、一票の価値には含まれるはずだ。

選挙区の連続性にこだわる共産党の言い分も重要だ。

選挙後の議員の動向を見て、次の選挙で誰に投票するかを決めるには、選挙区割の連続性が不可欠だ。

これらの全体像を俯瞰する中で、わずか 1% の格差是正に意味などあるのだろうか。

・

そして最後に、一番大切なことを述べるためにあえて脱線する。

一票の格差はなぜ良くないのか。

一票の価値とは、一議席あたりの人口を指すことはすでに述べた、

1 議席あたり 1,000 人の選挙区 A と、1 議席あたり 10,000 人の選挙区 B では、確かに当選に必要な得票数に格差があるが、そのどこがいけないのか？

A が B より当選しやすいから？、それとも B の議席の方が A の議席より価値があるから？、いや多分「単に違う」から不公平だと言うのだろう。

つまり「同じ」が正しくて、「違い」は間違っているという、意味不明の決めつけか。

そもそも、国会議員を選ぶのに自治体や地域単位の代表を選ぶこと自体意味が無い。

地方自治は、地方議員と市民が担い、国会議員は「全国一律の仕事と外交」だけをやるべきだ。

<https://nanoni.co.jp/20221219/>

.....

3. 今週+今後の予定（下記以外はすべて空いてます）

【凡例】◎：申込不要、○：申込必要、×：一般参加不可

■今週の予定

(火) 12/20 なのに（世田谷）作業日

(水) 12/21 なのに（世田谷）作業日

講習○：10-12 時 複式簿記入門講座（笑恵館+zoom）

交流◎：13-18 時 笑恵館なるほどデイ（笑恵館）

(木) 12/22 なのに（世田谷）旅行日

会議◎：17-19 時 笑恵館クラブ運営会議（笑恵館）

交流×：20-22 時 日楽庵・住人忘年会（日楽庵）

(金) 12/23 なのに（世田谷）旅行日

(土) 12/24 なのに（世田谷）旅行日

交流◎：土曜・毎週 09-17 時 ◎よろず相談会（笑恵館）

(日) 12/25 いづみ（横浜）作業日

交流◎：09-17時 　いづみ PJT オープンデイ（反町）

交流◎：12-14時 　いづみ PJT 説明会（反町）

（月）12/26 なのに（世田谷）作業日

■定例の予定

月曜・第2,4 22-23時 　○八島花文化財団準備室 MTG（zoom）

火曜・第2 18-20時 　○LR 定例営会議（zoom）

第4 20-21時 　○LR 定例営会議（zoom）

水曜・第4 10-12時 　○OforW 経営運営会議（zoom）

木曜・第2 15-16時 　×かなこ PJT（zoom）

17-19時 　◎笑恵館クラブ運営会議（笑恵館）

第3 13-18時 　◎笑恵館なるほどデイ（笑恵館）

18-20時 　○笑恵館完全持ち寄り食事会（笑恵館）

20-21時 　×AR 子ども書籍 MTG（zoom）

第4 17-19時 　◎笑恵館クラブ運営会議（笑恵館）

20-21時 　○一宮庵クラブ運営会議（成城）

金曜・第4 08-09時 　○地主の学校ゼミ（zoom）

土曜・毎週 09-17時 　◎よろず相談会（笑恵館）

第2 12-14時 　×RYUSEN PJT（zoom）

日曜・毎週 09-17時 　◎いづみ PJT オープンデイ、説明会（反町）

第1 10-11時 　×100smile 会議（zoom）

第4 10-14時 　○名栗の森オーナーシップクラブ月例会（飯能）

■今後の予定

12/28 会議×：13-14時 　一宮庵 MTG（成城）

12/28 交流×：18-20時 　笑恵館・住人忘年会（笑恵館）

12/29 交流○：19-21時 　いづみ・忘年会（反町）

12/30 会議×：15-17時 　Sプロジェクト（笑恵館）

松村の予定はこちらで随時公開しています。

<http://nanoni.co.jp/schedule>

.....

4. 地主の学校・販売中

拙著【地主の学校】はこちら

<https://www.bungeisha.co.jp/bookinfo/detail/978-4-286-23339-0.jsp>

セミナー、読書会など気軽にご相談ください。

.....

5. アクセスポイント

松村拓也

メール takuya@nanoni.co.jp

携帯 090-9830-3669

自宅：

〒157-0073 東京都世田谷区砧 6-27-19 笑恵館

<http://shokeikan.com/>

主な所属団体：

株式会社なのに（取締役・平社員）

<http://nanoni.co.jp/>

一般社団法人日本土地資源協会（代表理事）

<http://land-resource.org/>

特手非営利活動法人 HOME-FOR-ALL（事務局長）

<http://www.home-for-all.org/>

一般社団法人地域社会圏研究所（事務局長）

<https://localrepublic.jp/>

.....

6. このメルマガについて

松村拓也とご縁のあった方に、日々の活動やブログ記事の抜粋などの情報をほぼ毎週お届けします。参加希望、ご意見、ご質問など、何でもこのメールに返信してください。

バックナンバーはこちら

<http://nanoni.co.jp/magazine/>

メール配信をご希望の方はこちら

<http://eepurl.com/dHjgFX>

まぐまぐ版はこちら

<https://www.mag2.com/m/0001693746>